

1 研究主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち、ともに未来社会の創造に挑戦する空知の子どもを育てる学校経営～

2 研究推進の概要

- (1) 研究主題の解明のため、研究母体となる市町校長会や共同研究ブロックとの一層の連携強化と校長会研究大会の内容の充実を図る。
- (2) 生涯学習社会における学校教育の役割を踏まえ、個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成のため、研修活動の活発化に努める。

3 研究の成果と課題

○成果

- ・ 令和6年度は、道小空知大会の開催のため、管内研究大会は休止とした。
- ・ 令和5年度開始の研究基本構想「第7次3か年計画」（令和5～8年度）を根幹として、3か年計画の2年次目の研究を11月の「市町研修担当者協議会」より開始した。2年次目の研究について確認いただき、共同研究ブロック研修をスムーズに開始することができた。以下に記載する5つの事項を重視し、とりわけ、校長のリーダーシップを視点とした積極的な研究・実践をスタートさせた。

第1分科会協議題	《学校経営》	主題：創意と活力のある学校経営ビジョンの実現
第2分科会協議題	《教育課程》	主題：質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントの実現
第3分科会協議題	《指導・育成》	主題：教職員の資質向上を担う協働体制の実現
第4分科会協議題	《危機管理》	主題：安全・安心を目指す学校の実現
第5分科会協議題	《教育課題》	主題：自立と共生に向けた教育活動の実現

○課題

- ・ 令和7年度は、第1・2・4分科会は、全連小大会の研究課題に沿って提言・紙上提言を行い、第3・5分科会は、道中大会の研究課題に沿って提言・紙上提言を行っていく。
- ・ 研究大会は、管内の校長が一同に集い、組織力のさらなる向上と、学校経営上の諸問題について研究協議を行い、校長としての職能の向上を図るとともに、管内教育の充実・発展に寄与するものとして計画していく。

1 研究主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち、ともに未来社会の創造に挑戦する空知の子どもを育てる学校経営～

2 研究主題設定の趣旨

- (1) 空知校長会では、研究基本構想『第7次3か年計画（令和5年度～8年度）』を根幹とし、研究の継続性を踏まえ、令和7年度は本計画の2年次から3年次の研究を進める。
- (2) 子ども一人一人の能力を伸ばし、来るべき社会の担い手として必要とされる基本的な資質・能力を育む学校経営を推進するため、校長としてのリーダーシップの在り方を求め、空知を愛する子どもを育てる学校経営を力強く推進する本研究主題を設定した。

3 研究内容

- (1) 令和7年度「空知校長会第60回研究大会」の開催

- (2) 研究協議題及び主題と重点領域

- | | |
|----------|--|
| 第1分科会協議題 | 【主 題】：創意と活力のある学校経営ビジョンの実現
【重点領域】：知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進 |
| 第2分科会協議題 | 【主 題】：質的向上を目指すカリキュラム・マネジメントの実現
【重点領域】：知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進 |
| 第3分科会協議題 | 【主 題】：教職員の資質向上を担う協働体制の実現
【重点領域】：新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実 |
| 第4分科会協議題 | 【主 題】：安全・安心を目指す学校の実現
【重点領域】：知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進 |
| 第5分科会協議題 | 【主 題】：自立と共生に向けた教育活動の実現
【重点領域】：新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実 |

- (3) 各種校長研究大会や研究団体等の研修会への参加と協力

全国、全道レベルの研究大会への積極的な参加を通して、管内教育への成果還流を図り、学校経営に資するものとする。また、各種研修会への支援、協力を行うことで、なお一層の管内教育の充実を図る。

4 研究推進計画

- | | |
|----------|--------------------------------|
| ○令和6年11月 | 各ブロック研究計画スタート |
| ○令和7年7月 | 研究大会事前研修 |
| ○ 8月 | 第60回空知校長会研究大会 |
| ○ 9～10月 | 全国、全道研究大会への参加（成果還流）、研究活動の反省と総括 |
| ○ 11月 | 新たな研究活動のスタート（研究基本構想『第7次計画3年次』） |

5 研究組織

- ・空知校長会研修・情報部（担当副会長・部長・副部長・部員）を核にした研究推進体制
- ・地区を15の研究ブロックで構成し、5つの主題の下、3地区を合わせた共同ブロックにて研究を推進

6 その他

研究大会は、その趣旨を重んじるとともに、組織力のさらなる向上を目指し、会同での開催を基本として計画する。